

AQ2170/AQ2170H 光パワーメータ オペレーションガイド



ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。また、実際の画面表示内容が本書に記載の画面表示内容と多少異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万が一不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、お買い求め先か、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

商標

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、および PostScript は、アドビシステムズ社の登録商標または商標です。
- 本文中の各社の登録商標または商標には、®、TM マークは表示していません。
- その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

概要

AQ2170/AQ2170H は、小型軽量の光パワーメータです。レーザ光源と組み合わせることで、光ファイバケーブルの光学的損失を測定できます。

AQ2170/AQ2170H 上部のユニバーサルアダプタインターフェースを使って、光接続できます。本器は7波長 (AQ2170H は5波長) に対応し、お客様のニーズにトータルにお応えします。電気通信関連のプロジェクトや、赤外線に近い波長の光パワーを測定する場合など、幅広くご利用いただけます。



特徴

- 低消費電力
- 測定レンジの自動調整
- LCD ディスプレイ、バックライト機能
- 操作しないまま 10 分経過後のオートオフ

操作



No.	キー	機能
1		本器の電源を ON/OFF します。電源を ON にするときに、2 秒以上長押しすると、オートオフ機能が無効の状態では本器が ON になります。
2		850/1300/1310/1490/1550/1625/1650nm (AQ2170H は 1310/1490/1550/1625/1650nm) という順序で測定波長を選択します。
3		測定単位 (dBm、dB、mW) を切り替えます。
4		短く押しすると、現在のテスト波長の基準値が表示されます。2 秒以上長押しすると、現在のテスト波長の新しい基準値を設定できます。
5		バックライトを ON/OFF します。

背面



推奨交換部品

ユニバーサルアダプタとコネクタアダプタは、本器の使用回数 1000 回を目安に交換することをお勧めします。ただし、実際の交換間隔は、動作環境や使用頻度に大きく左右されます。ここで推奨している交換の目安は、試算に基づくものです。推奨交換部品は、保証の対象外です。

保守

- ・ 使用後は、保護用のダストキャップを装着してください。
- ・ 使用中にコネクタや本機器が汚れた場合は、清掃してください。光学機器用のクリーニングパッドや無水アルコールの使用をお勧めします。洗浄剤が本器の内部に侵入しないよう、十分に注意してください。
- ・ 測定精度を長期間維持するためや、早期に異常を発見するために、定期的な校正が有効です。
- ・ 1 年に 1 回、校正されることをお勧めします。
- ・ 電池の液漏れや発火、および爆発を防ぐために、以下のことをお守りください。
 - ・ 直射日光が当たる場所に、本器を放置しないでください。
 - ・ 電池を火に投げ込んだり、加熱したりしないでください。
 - ・ 電池を電池ケースに装着するときは、電池の向きが正しいことを確認してください。
 - ・ 電池を長期間使用しない場合は、電池を本機から取り外して、乾燥した場所で保管してください。

表示

